

Basic information

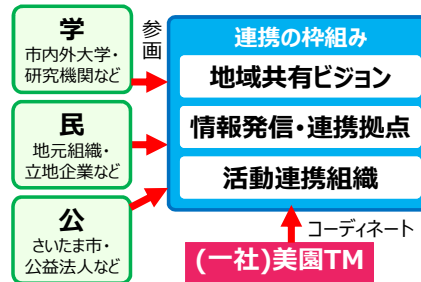
法人設立年月日	2015年7月22日
指定年月日	2016年7月12日
資本金等	なし
株主・構成団体等 （出資割合）	会員：地区関係者
職員数	5名（常勤3名、非常勤2名）

■ 法人の紹介

新市街地形成の進む「さいたま市美園地区」において、地域関係者の連携・分担に基づく各種まちづくりプロジェクトの創出・活性化を図りながら、各事業収益をまちづくりに還元・再投資するサイクルの確立による、持続可能な地域運営体制の構築を目指している。

■ 官民連携による事業推進体制

「アーバンデザインセンターみその」を拠点に、“公民+学”の参画・連携を促し、各種事業創出を図っている。



■ 活動エリア （約350ha）

みそのウィングシティ区域を中心に、新市街地形成が進む浦和美園駅周辺エリアを対象とする。



事業創出

Project

1 公共空間等利活用促進実験

（収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地）

■ 地区特性に合った利活用の試行・実践

道路・公園など、駅周辺の官民オープンスペースを活用した地域マルシェイベント等を随時企画・実施。
'20年8月には、公共空間等を利用した活動を行う地域団体・事業者等を公募・紹介する実験にも着手。



2 街並みデザイン誘導

（収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地）

■ 土地活用に合わせて良好な街並み形成

先導モデル住宅街区の成果等も踏まえつつ、「ウォークアビリティ」・「ホスピタリティ」・「都市のグリーン化」の視点を軸に地区独自の指針『街並みデザインガイド』を'20年4月策定し、デザイン相談を実施中。



3 自転車利用環境整備事業

（収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地）

■ 住民・来街者の移動利便性向上

鉄道端末交通における自転車利用分担率向上を目指し、駅周辺の駐輪場配置計画・整備・運営等を推進。また、シェアサイクル利用促進に向け、シェアリング車両の貸出返却ポートの設置(新規開拓)・運営等を実施。



4 河川空間の利活用促進

（収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地）

■ 計画・整備・運営を全体コーディネート

綾瀬川沿い遊歩道および調節池底面の利活用基本計画を'17年度に策定。整備進捗に追従し、清掃活動やイベント等を試行しながら、住民組織・立地企業など沿川連携による管理・運営体制構築を推進。



Hot topic

■ サステナブルな地区内交通環境を目指して

パーソナルデータ利活用実証等の地区内先行取組や、コロナ禍を経た移動・消費等ニーズの量的・質的変容も見据えつつ、「空間/モード/モード間接続/データ利活用」の視点を軸にエリア交通戦略検討を'19年度より推進。同戦略推進に向け、AIデマンド交通サービスやまちなかベンチ等の先行実証も並行して企画・実施。



Tool

活用している各種まちづくり制度

制度の種類	活用	締結・活用時期
①都市再生整備計画の提案	✓	'21年10月、'22年6月
②道路占用許可特例制度の活用		
③都市公園の占用許可特例制度の活用		
④都市利便増進協定の締結	✓	'21年11月('22年8月変更)
⑤都市再生(整備)歩行者経路協定の締結		
⑥低未利用土地利用促進協定の締結		
⑦公園施設設置管理協定の締結		



<https://www.misono-tm.org/udcmi/>
<https://misonobito.jp>